

備えるのは、

今

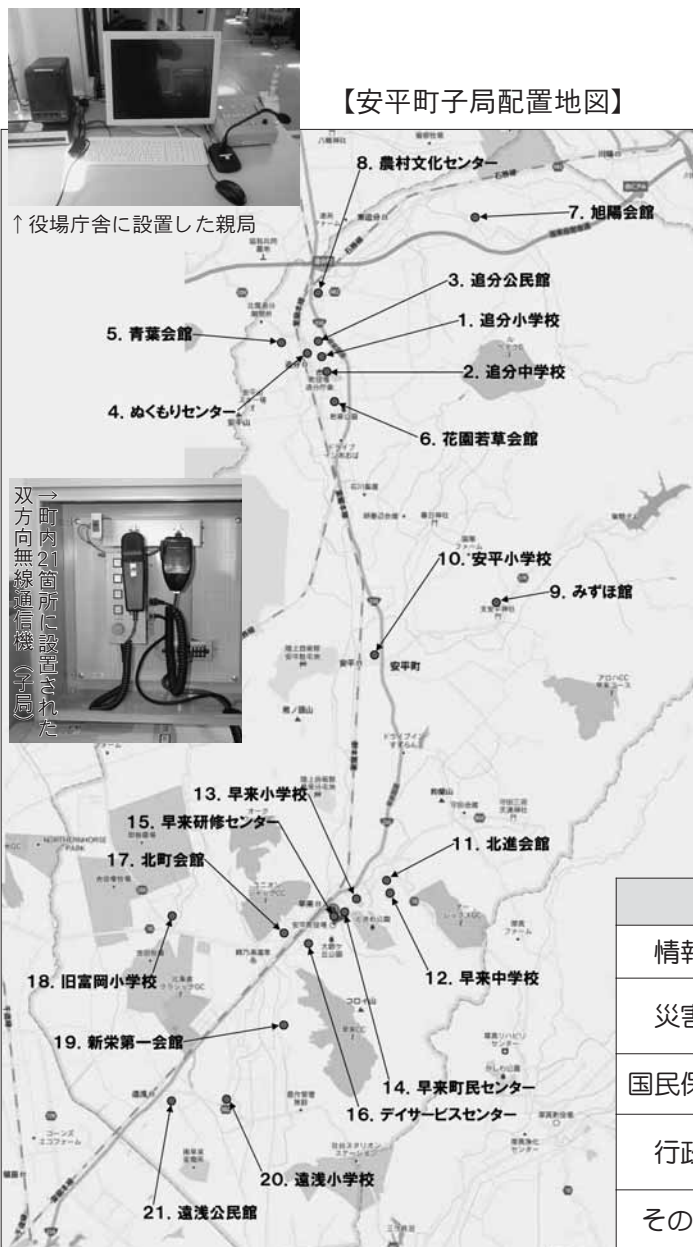
安心安全で 平和な町をめざして



未だ記憶に新しい、東日本大震災。
その被害の甚大さに誰もが言葉を失い、目を覆ったことでしょう。
電気や水道、通信情報などのライフラインだけでなく、陸海空の輸送経路も絶たれました。
災害が少ないといわれる安平町ですが、いつ起こるかわからないのが「自然災害」です。
安平町では、災害の情報を皆さんにすばやく、適切にお知らせするための

『防災行政デジタル無線』

を整備し、4月1日から運用を開始しました。



町内の21箇所に防災行政
デジタル無線を整備

早来庁舎及び追分庁舎に設置した親局（補助局）から発信する緊急時情報を、町内の21箇所の避難所に設置した無線子局のスピーカーを通じて一斉放送する設備です。大規模災害時には、無線子局を設置した避難所から災害対策本部となる役場庁舎へ被害状況などを連絡するための機能も備えています。

通信の途絶えがない
MCA無線システムを採用
阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大規模災害においても通信の途絶えが少なく、災害時の緊急連絡用として信頼性が実証されています。
※MCAとは「マルチ・チャンネル・アクセス」の略で、タクシーや運送業などで業務用無線として幅広く利用されています。

【設備を利用して発信する情報】

情報区分	発信者	内容
災害情報	気象庁 町	緊急地震速報、避難指示・勧告、土砂災害警戒情報など
国民保護情報	総務省	弾道ミサイル飛来など
行政情報	町	熊情報、選挙啓発、イベント情報など
その他情報	町	子どもの帰宅時間チャイムなど